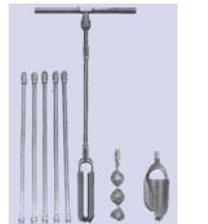


# ボーリング調査

環境調査や遺跡の発掘調査等に伴い、深度 10m以浅の試料（土壌）採取を目的としたボーリングが行われることがある。しかし、従来のボーリング機器ではコストが高くなるため、もっと簡単に安く調査を行えるような要望に応えるべく、当社では、少ない作業人員に短時間で行える簡易ボーリングを提案し、様々な現場で実績を上げている。現在当社では、手動式のシンウォール、トーマス、ハンドオーガー、機械式のパーカッションサンプラーの4種類を扱っている。これらは下記のような特徴があるため、目的に応じて選択し、黒ボク土・ローム層・砂・シルト・粘土・砂礫（細かなもの）・貝層等の試料採取を行うことができる。いずれも軽量コンパクトのため、狭いスペースで作業ができるだけでなく、遺跡や田畑などにダメージを与えないなどが利点として挙げられる。

## <目的>

- ・地質調査－地質調査に伴う基礎調査・地層構造調査による試料採取等に使用できる。
- ・土壌汚染調査－汚染されている箇所等の土壌採取及び地下水の採取等に使用できる。
- ・遺跡調査－遺跡包含層確認のための事前調査及び地形発達史の解明等に使用できる。

	トーマス	シンウォール	ハンドオーガー	パーカッション
最大深度	10m	5m	5m	5m
試料の状態	攪乱	不攪乱	攪乱	不攪乱
作業人数	2-3名	3-4名	3-4名	3-4名
重量	20kg	20kg	20kg	60kg
採取試料の大きさ	径20mm 長さ300mm	径60mm 長さ300mm	径100mm 長さ200mm	径50～100mm 長さ1000mm
用途	層序確認 分析用試料採取	層序確認 分析用試料採取	層序概略確認 分析用試料採取	層序確認 分析用試料採取
適用土壌	低地の土壌 (砂礫は不可)	低地の軟質土壌 (砂礫は不可)	軟質土全般 (ロームなど台地上の風成土壌を含む)	軟質土全般 (ロームなど台地上の風成土壌を含む)
長所・短所	シンウォール型より、堅い土壌でも掘削できるが、径が細くて土壌採取量が少なく、試料をかき込むため攪乱を受ける。	不攪乱土を採取できるため、分析用試料採取に適するが、軟弱な低地土しか使用できない。	先端を替えると、いろいろな土壌に対応できるが、先端形状によって攪乱が大きくなることもある。不攪乱試料を採取できる先端もある。	堅めの土壌でも掘削でき、径が太くて分析試料も多く採取できるが、砂礫や未分解の植物遺体が多い層は不向き
機器の写真				



トーマスサンプラー  
作業風景



シンウォールサンプラー  
作業風景



ハンドオーガー  
作業風景



パーカッションサンプラー  
作業風景

